



投資環境

2025年10月3日

米国の一部で信用不安浮上も、影響は限定的か

□ 自動車関連企業の経営破綻相次ぐ

米国で、自動車関連企業の経営破綻が相次いでいます。9月上旬には、テキサスに拠点を置く自動車ローン事業者、トライカラー・ホールディングスが連邦破産法第7条にもとづく会社清算を申請しました。同社は、銀行に提供していた担保や財務データに関する懸念から与信枠が打ち切られたことで、経営破綻に至ったとみられます。同社は主に、ヒスパニック系の移民向けの自動車ローンを手掛けており、トランプ政権の不法移民の強制送還を受けて、ローンを残し国外に退去した借り手が増えたことなどにより、経営環境が悪化したとみられます。

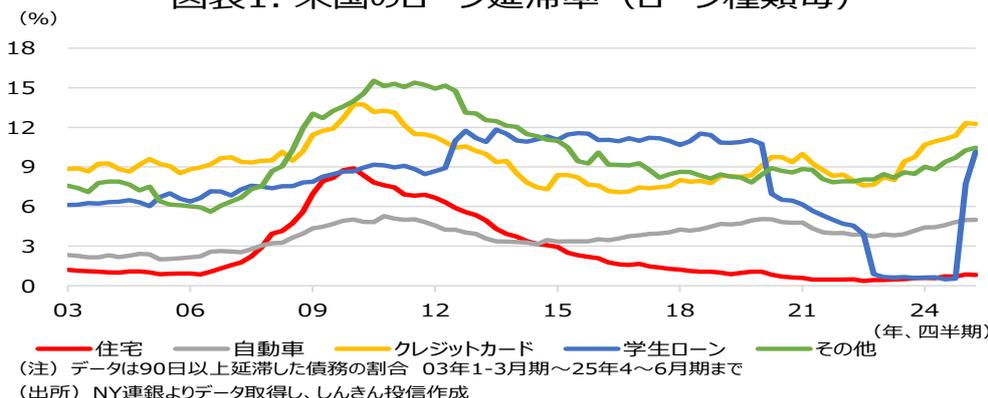
9月下旬には、自動車部品メーカーのファースト・ブランズ・グループ (FBG) が、日本の民事再生法に相当する米連邦破産法第11条 (チャプター11) の適用をテキサス州の連邦破産裁判所に申請しました。同社は、「サプライチェーン金融」と呼ばれる、売掛金を担保に早期に資金調達ができる手法を積極的に活用していました。これは、FBG の取引先に対する支払いを、第三者の投資家が一時的に肩代わりし、後日、FBG がその投資家に資金を返済する仕組みです。財務諸表には反映されないこうした負債が多額に上ることが明らかになり、同社の財務状況への不安が高まったことで、借り換えのための資金調達が難しくなり、経営破綻に陥ったとみられます。

要因は異なるものの、相次いで自動車関連企業が経営破綻した背景として自動車を中心とする米国の信用状況の悪化が指摘され、先行きへの懸念が報じられています。そこで以下では、現在の米国の信用状況や金融市場の動向をまとめたいと思います。

□ 信用状況は悪化、ただし残高が最も多い住宅ローンの延滞率は低水準

NY 連銀が公表した 2025 年 4-6 月期までの米国のローン延滞率を確認すると、自動車ローンをはじめ、学生ローンやクレジットカードローンの延滞率が上昇していることが分かります (図表 1)。背景としては、物価高騰による生活費の上昇や金利の上昇、若年層や黒人などを中心に雇用情勢が悪化していることが挙げられます (図表 2)。ただし、全体の延滞率は、リーマンショック時と比べると低水準にとどまっています (図表 3)。これは、最もローン残高が大きい住宅ローンの延滞率が低水準にとどまっているためです。加えて、低所得者 (サブプライム) 向けのローン組成額は低水準での推移が続いており、ローン残高も 2007 年のサブプライム問題発生時と比べて減少しているとみられます (図表 4)。サブプライム層向けの自動車ローンの延滞率は上昇していますが、残高が小さいため、今後一段と信用状況が悪化したとしても、金融市場全体への影響は限定的になることが予想されます。

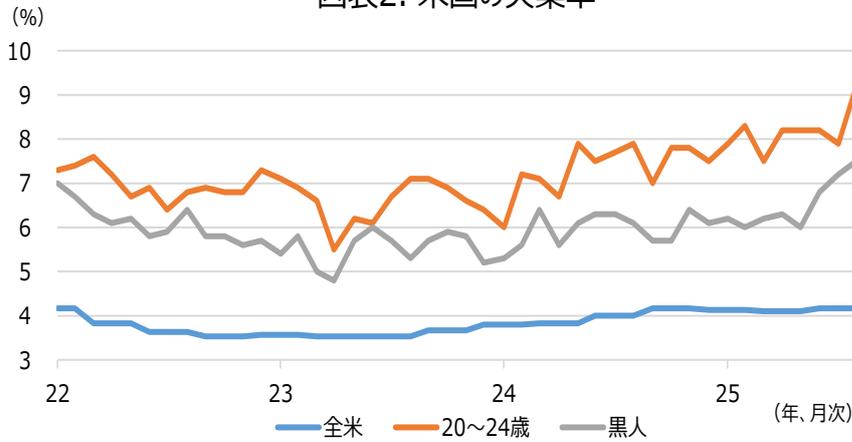
図表1. 米国のローン延滞率 (ローン種類毎)





しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
 Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

図表2. 米国の失業率



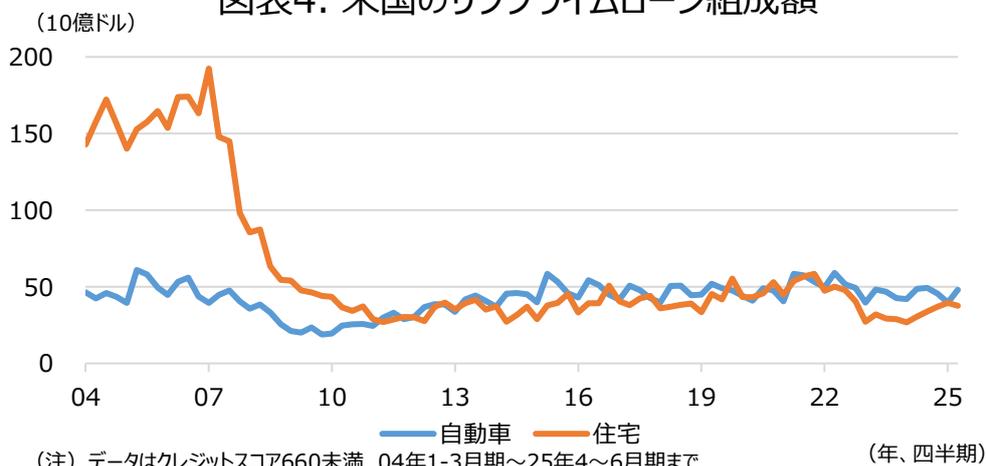
(注) データは22年1月~25年8月まで
 (出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

図表3. 米国のローン延滞率 (全体)



(注) 03年1-3月期~25年4~6月期まで
 (出所) NY連銀よりデータ取得し、しんきん投信作成

図表4. 米国のサブプライムローン組成額



(注) データはクレジットスコア660未満 04年1-3月期~25年4~6月期まで
 (出所) NY連銀よりデータ取得し、しんきん投信作成

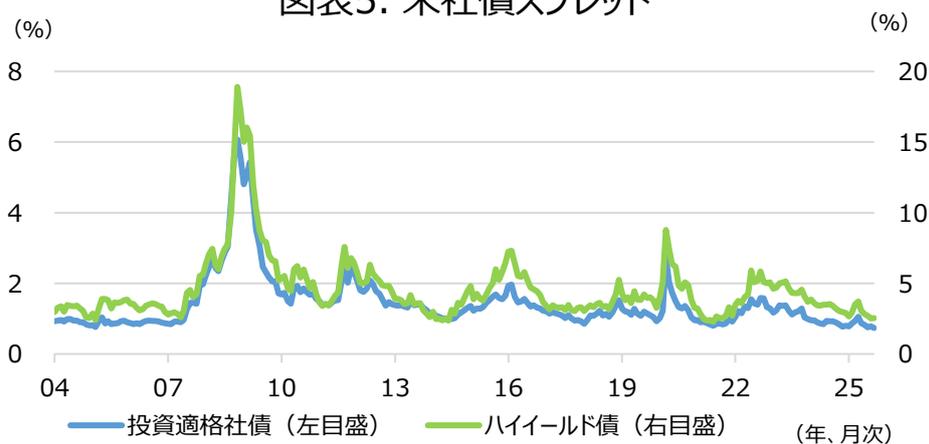


しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
 Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

▣ 金融市場では、スプレッドが歴史的低水準に

他方、金融市場の動向を確認すると、米国の社債市場は極めて好調です。相対的に信用力が高い投資適格社債の米国債に対する利回り差（スプレッド）、相対的に信用力が低い高利回り社債（ハイイールド債）の同スプレッドはともに、歴史的に極めて低い水準にあります（図表5）。背景としては、米連邦準備理事会（FRB）が利下げを開始したことや社債発行企業のデフォルト率が低水準にとどまっていることが挙げられます。

図表5. 米社債スプレッド



(注) 投資適格社債は、ブルームバーグ米国社債インデックスオプション調整後スプレッド
 ハイイールド債は、バークレイズキャピタル米国ハイイールド債スプレッド
 データは04年1月～25年9月まで
 (出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

▣ 金融危機に発展する可能性は低い

上述したように、ローン残高が大きい住宅ローンの延滞率は低位にとどまっていることから、リーマンショックにつながったサブプライム問題が再発する可能性は低いと思われます。ただし、住宅ローン以外の延滞率は上昇していることから、今後も経営破綻の事案が出てくる可能性があります。米国の信用市場への懸念が強まると、極めて低い水準にとどまっているスプレッドが拡大する可能性があります。注意が必要です。

(ストラテジスト 澤村一樹)



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

- ※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。
- ※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- ※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ※投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- ※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】

■ 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■ 投資信託に係る費用について

（お客様に直接ご負担いただく費用）

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 **上限 3.3%(税抜 3.0%)**
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 **上限 0.3%**

（保有期間中に間接的にご負担いただく費用）

- ◆ 運用管理費用（信託報酬）・・・純資産総額に対して、**上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)**
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用（手数料等）の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。